

あさか訪問通信



えんげ 錠剤嚥下障害



R8.6月号

あじさいが咲きはじめ、季節の変わり目を感じる季節となりましたがいかがお過ごしでしょうか？「錠剤嚥下障害」とは、錠剤やカプセル、散剤（粉末）などが「飲み込みにくい状態」にあることを示します。また似ている言葉に「薬剤性嚥下障害」がありますが、こちらは「薬剤の影響（副作用など）により、嚥下機能が低下すること、またはその状態」を示す言葉であり、錠剤嚥下障害とは意味がまったく異なります。摂食嚥下障害がなくとも、錠剤嚥下障害は発生し得ます！なぜ、「薬だけ飲み込めない」という事が起きるのかそのメカニズムを解説します。※「嚥下」とは食べ物を飲み込み、口から胃へ運ぶ一連の動作のことをいいます。

●飲み込むまでの過程

先行期

準備期

口腔期

咽頭期

食道期



1.先行期 最初に目や鼻などで目の前の物が食べ物であることを認識し、口に運びます。

2.準備期 口の中で食べ物を噛み、かたまりにします。

3.口腔期 そのかたまりを舌を使って喉の奥に運びます。

4.咽頭期 「嚥下反射」という機能が働いてかたまりが咽頭を通過

5.食道期 食道から胃へ運ばれます。

●錠剤嚥下障害の実態

■「準備期」がないから難しい

通常の食事は、咀嚼してペースト状にしてから飲み込みます。しかし、服薬には、「噛んでまとめる（準備期）」という工程がないため、固形物（薬）と液体（水）を同時に、しかも噛まずに飲み込まなくてはならないため、実は食事より難易度は高くなります。

■要支援・要介護高齢者の2~3割が苦戦

要支援や要介護1の方でも、その2~3割が「薬を飲み込めない」「喉や胸につかえる」経験をされています。また、摂食嚥下障害は、高齢男性に多い傾向にあり、錠剤嚥下障害は若い女性も見られるのが特徴です。

■基本は「顎を引く(前屈)」



気道を確保し誤嚥を防ぐため、首を少し曲げた（前屈）状態で飲むのが正解です。粉薬を一気に飲もうとしたり、介助者が立って上から飲ませようとしていたりすると上を向いてしまいがちになってしまうため注意が必要です。



コップの縁が鼻に当たらないよう、一部を切り取った「ノーカットコップ」がオススメです。

●簡易懸濁（けんたく）法

約55℃のお湯に入れ、10分程放置して溶かす方法。



錠剤やカプセルを
コップに入れる



55℃前後の
お湯を注ぐ



よくかきまぜて
服用または経管投与

★ポットのお湯（90℃以上）と水道水を「2：1」で混ぜると約55℃になります。
注）薬によってこの方法が適さない場合もあるため、薬剤師に確認が必要です。

薬が飲み込みにくいと感じたらまず、ご相談ください。浅賀歯科医院